

令和 7 年度病害虫発生予察注意報第 1 号

令和 7 年 5 月 1 6 日

岐 阜 県

作 物 名 麦 類

病害虫名 赤かび病

1 発生地域 県下全域

2 発生時期 5 月下旬以降

3 発生程度 やや多い

4 予報の根拠

- (1) 5 月 6 日以降、麦類赤かび病の発生好適日が頻繁に出現している（表 1）。
- (2) 名古屋地方気象台発表の 1 か月予報（5 月 8 日発表）によると、気温が高く、降水量が多いと予測されており、今後も感染に好適な気象条件が続くと考えられる。
- (3) 過去 3 年間、赤かび病の発生量は平年に比べ高い状態が続いていることから、ほ場における本病原菌の密度は高いと予想される。
- (4) 5 月 13 日に実施した発病穂率の調査で、12 ほ場のうち 4 ほ場で平年より高い値を確認した（表 2）。

5 防除上の注意事項

- (1) 開花始期（出穂期から 7 ～10 日後）とその 10 日後の 2 回、必ず防除を実施する。
- (2) 防除を実施する場合は、使用する薬剤の収穫前日数に注意する。
- (3) 系統の異なる剤によるローテーション散布に留意する。
- (4) 排水の悪いほ場で本病の発生が多くなるので、排水溝の点検・整備を行う。
- (5) 農薬の使用にあたっては、最新の登録内容（農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を確認し、適正に使用する。

表1 赤かび病の発生好適日

	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/11
岐阜市		○ ◎	○			○ ◎	○ ◎	○	○ ◎	○ ◎	○ ◎
大垣市		○ ◎	○ ◎			○ ◎	○ ◎	○ ◎	○ ◎	○ ◎	○ ◎
揖斐川町		○ ◎	○ ◎			○ ◎	○ ◎		○ ◎	○ ◎	○ ◎

- ・各地域の上段は子のう殻形成好適日を○、下段は子のう胞子飛散好適日を◎で示す
- ・○子のう殻形成好適日は、降雨直後かつ平均気温が13℃以上であった日
- ・◎子のう胞子飛散好適日は、降雨直後または湿度が80%以上に加え、最高気温が15℃以上かつ最低気温が10℃以上の条件を満たした日

表2 赤かび病発病穂率（5/13調査）

	本年(%)	平年(%)	平年比
岐阜市	0.4	1.8	0.2
大垣市	0.2	0.3	0.5
羽島市	1.4	0.9	1.6
本巣市	1.2	0.5	2.2
海津市(海津)	2.8	3.1	0.9
海津市(平田)	0.4	0.6	0.6
養老郡養老町	0.8	2.6	0.3
不破郡垂井町	0.1	0.7	0.1
安八郡輪之内町	2.3	1.5	1.6
揖斐郡揖斐川町	0	0.4	0
揖斐郡大野町	0	0.5	0
本巣郡北方町	2.2	0.3	6.3

- ・データは小数点以下第2位で四捨五入した値を示す
- ・平年は過去10年の平均値
- ・各地点で1200穂調査した